

Photo ふなばし



習志野高校を破り全国高校サッカー選手権大会に3年連続出場を決めた市立船橋高校サッカー部

とくしゅう
PART 1

全国が注目!
船橋市の救急医療

MOVE

京葉道路船橋インターチェンジ

千葉方向入り口が開通

とくしゅう
PART 2

写真で振り返る1995年

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- サークル通信 ●ズームアップ
- WE ARE IN FUNABASHI

まちなかの文化財／ふなばしの民話
ペットインタビュー



24時間体制の救急医療システムにより、船橋市の救急救命率は全国でもトップレベルとなっています

vol. 70

広報ふなばし写真版

MOVE

京葉道路船橋インターチェンジ

千葉方向入り口が開通

10月26日、京葉道路船橋インターチェンジに、待望の千葉方向入り口が開通しました。これにより、千葉方面へのアクセスが非常に便利になると同時に、国道14号線や357号線、さらに県道船橋・我孫子線などの渋滞緩和も期待されています。

船橋市では、都市計画道路や生活関連道路の整備を進めるとともに、国や県、日本道路公団などに強く働きかけ、市内道路交通網の動脈となっている幹線道路の整備にも積極的に取り組んでいます。今回の船橋インターのほかにも、12月21日には花輪インターに千葉方向入り口が開通し、県道船橋・我孫子線の4車線化も着々と進められています。さらに、東関東自動車道の湾岸船橋インター設置を要望するなど、道路交通網の強化を図っています。



千葉方向入り口が完成した船橋インターチェンジ上空から

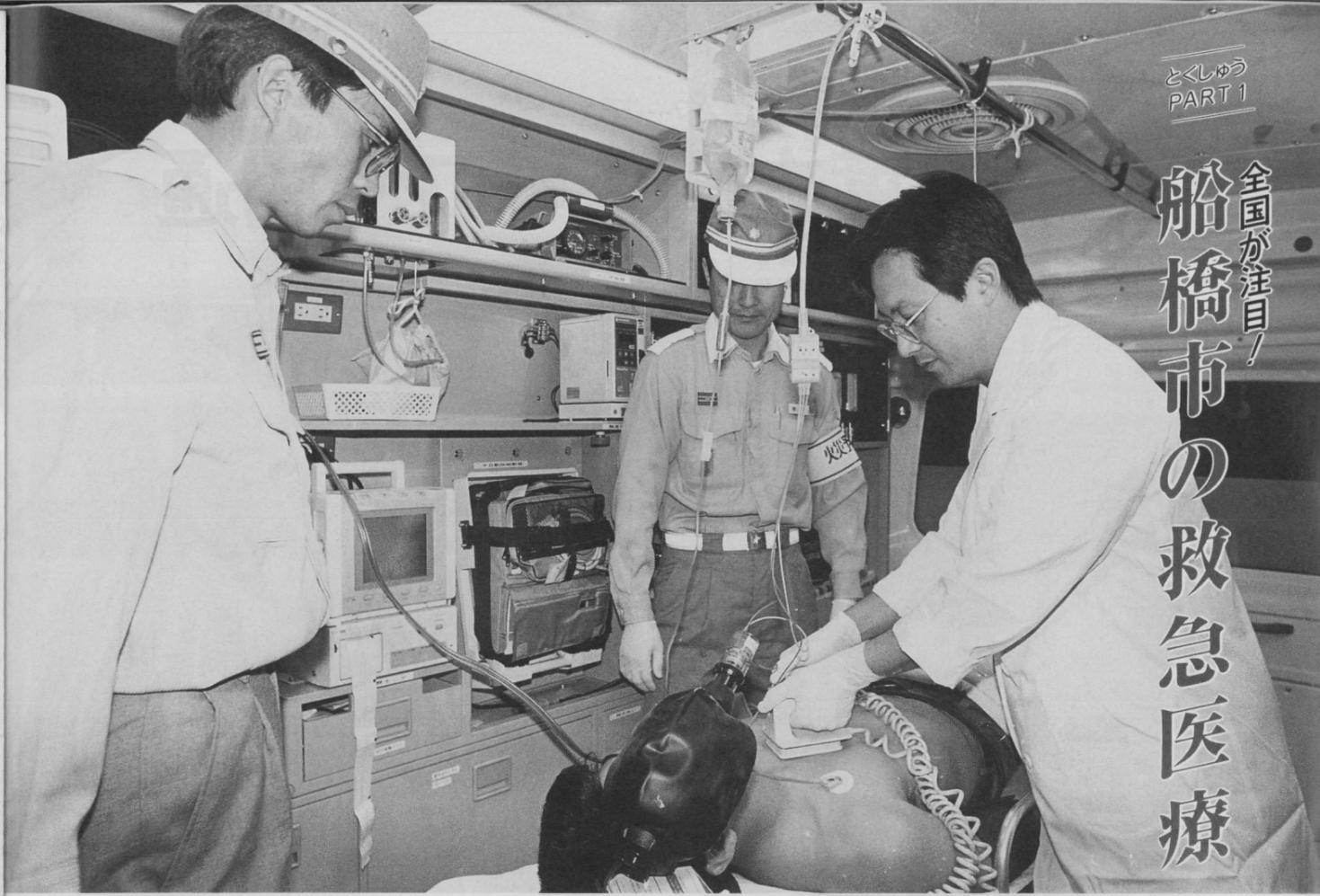
関係者の皆さんによってテープカットが行

われました（中央右側が大橋和夫市長）

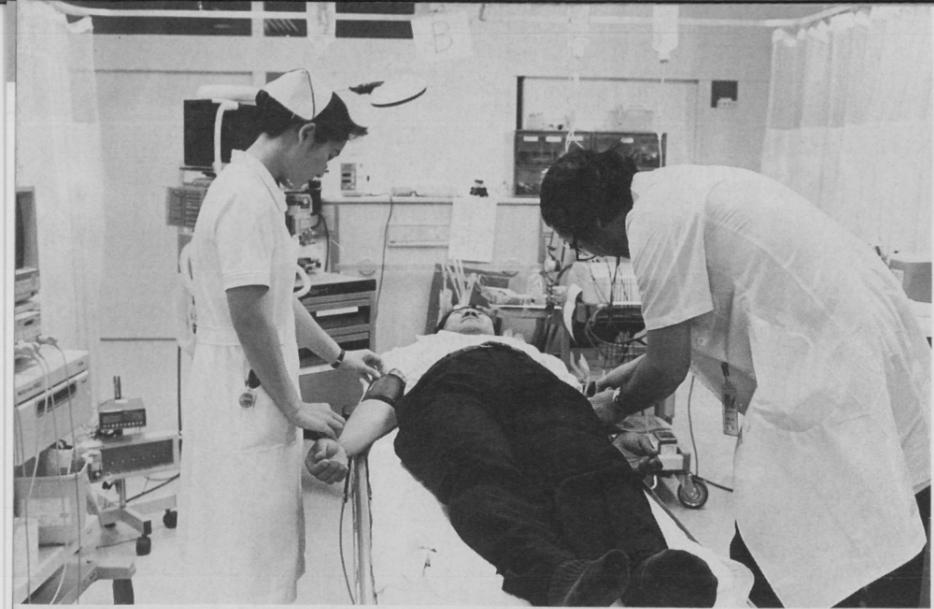


最初の利用者に花束や記念品が贈られました

全国が注目! 船橋市の救急医療



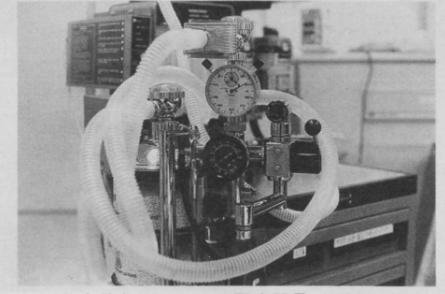
急病などで心臓や呼吸が停止したとの情報を受けた場合、24時間体制で医師の同乗したドクターカーがただちに現場に駆けつけ、適切な処置を行います



救命救急センター内で、一刻を争う重篤救急患者の救命医療が行われます



ドクターカーで適切な処置を施された重篤救急患者は、素早く救命救急センターなどの救急病院に運ばれます



救命救急センターの医療器具（麻酔器）



今年4月から始まった救急医療機関ネットワークにより、急病が発生した際でも24時間診療が受けられます



14診療科目、426床を有する医療センター。昨年4月、新棟内に救命救急センターを設置しました



ドクターカーが出動する際には、各消防署の救急車とペアで現場に向かいます



市立医療センターに併設されている救急ステーション



救急ステーションの通信席。指令センターからの出動命令を受けます



市内の救急、消防のすべてを統括する指令センター。モニターには119番通報と同時に通報地点の地図が写し出されます



夜間急病診療所では、午後9時から明朝6時まで内科、外科の治療が受けられます

今年の9月、市内の中学校で、リレーの練習中の男子生徒が突然倒れ、心臓停止状態となりました。しかし、指導にあたったいた教師らが、119番通報と同時に、備えられている酸素自動蘇生器を使って、心肺蘇生法を実施。数分後に到着したドクターカーで電気療法による救命処置を行い、救命救急センターに収容しました。その結果、ほとんど後遺症もなく一命を取り留め、今では元気に通学しています。

この事故では、全国から注目を集めている船橋市の救急医療体制が見事に連携して、大きな成果をもたらしました。

救急医療は、三次体制がとられています。まず、第一次体制は、初期診療体制で、医師会の協力を得て行う「夜間休日急病診療所（夜急診）」や「在宅当番医制度」。船橋市は全国に先駆けて昭和48年から夜急診を実施しています。

第二次体制は、夜急診などで、治療または入院が必要と診断された重症救急患者を受け入れる医療機関の体制です。市では昭和58年に、「市立医療センター」を開設。市医師会でも今年4月、救急医療機関ネットワークを創設し、第二次救急医療に対応できる医療機関が協力して24時間待機し、医療の空白時間をなくしました。

第三次体制は、心筋梗塞や脳卒中、頭部損傷などの重篤救急患者の救命医療を行う体制です。市では、平成6年、医療センター内に「救命救急センター」を併設し、東葛南部医療圏150万人の命を見守っています。

また、平成5年から市医師会の協力で、毎日24時間体制で医師が救急ステーションに待機し、高規格救急車に同乗して救急現場に出動するという全国初の「ドクターカー」をスタートさせ、救命率の向上に大きな成果をあげています。

さらに市では、心肺蘇生法の普及にも力を入れています。心肺機能が停止した場合、その患者の生死の分かれ目は停止後の3分間です。救急車到着までの平均時間は約4分。皆さんが心肺蘇生法を習得することによって、救命率は飛躍的に向上します。市内の中学校では、全国で最も早く、平成4年からこの心肺蘇生法を保健体育の授業に取り入れているほか、すべての小中学校、保育園などに酸素自動蘇生器が備えられています。



元旦マラソン 子供からお年寄りまでたくさんの市民ランナーが走り初めを楽しみました



成人式 9889人の新成人が誕生



▲高校サッカー日本一 2万2000人の皆さんが詰め掛けた優勝祝賀パレード



▲1月8日の決勝戦。帝京高校を5対0で下し初優勝

1月

とくしゅう
PART2

写真で振り返る1995年

2月



千人の音楽祭 市内のオーケストラ、吹奏楽、合唱の団体が一堂に集まり熱演を披露しました



船橋市・西安市友好都市親善団基大会 大橋和夫市長も選手として参加しました



数々の熱戦が展開されました

3月



全国初の共同空中偵察 陸上自衛隊第一空挺団の協力で市内を空から偵察



ミニバイク隊を導入 消防署や公民館などの公共施設に100台を配置

1995年は、市立船橋高校の全国高校サッカー選手権大会初優勝で感動の幕開けとなりました。しかし、その喜びもつかの間、阪神・淡路大震災が発生。船橋市は、全国に先駆けて独自の震災対策に取り組み、ミニバイク隊の導入や救命・救急訓練など、より実践的な対策を実施しました。

また、まちづくりや交通網の整備、姉妹・友好都市との市民ぐるみの国際交流など、新しい第二の発展期を迎えている船橋市は、今年も様々な出来事がありました。写真を見ながら、市政のこの一年を振り返ってみましょう。



全国で最も早く中学校の保健体育の授業に取り入れられている心肺蘇生法(CPR)の授業(七林中学校で)



すべての小中学校、保育園などに備えられている酸素自動蘇生器



救急医療の課題を提起し、その重要性を訴える救急医療シンポジウム



心臓停止状態となった生徒に、的確な心肺蘇生法を行った中学校の教諭に大橋和夫市長から感謝状が贈られました



8月27日に行われた救急フェア。子供から大人まで真剣に心肺蘇生法の講習を受けました



視覚障害者自立生活支援事業スタート 中途視覚障害者の皆さんの実情や希望に応じた訓練を行っています



船橋市・西安市友好学校調印 西安市の子供たちを招いて市立船橋高校で調印式が行われました



両市の小・中・高校各1校ずつが友好学校となりました



下水道高瀬幹線管渠建設工事発進式 平成10年度には高瀬処理区の一部利用が開始されます



第1回「ゴキブリ大作戦」 クリーン船橋530推進員」が中心となって行われました



震災対策救命・救急訓練 市・自衛隊・医師会などが参加



応急救護所で懸命な救命活動が行われました



“ふなばしレンタサイクル法典”オープン 放置自転車の防止と駐輪場の有効利用を目的として、レンタルシステムを県内で初めて採用しました



私があげる花火大会 産業まつりのフィナーレを飾っています



市民まつり ばか面踊りや民謡パレードが通りを埋め尽くし、船橋の夏が一段と熱くなりました



東葉高速鉄道レール締結式 昭和59年の着工以来、11年の歳月をかけた軌道工事が完了。来年4月の開業に向けて最終段階を迎えました



▲総合防災訓練 独自のアイデアを盛り込んだ実践的な訓練が行われました(住宅内避難室からの救出)

地域防災無線協議会設立 市内46団体が構成されています



市政・教育功勞表彰 179人・17団体を表彰



北総育成園がオーデンセ市で公演 ハンディキャップに負けず、けい古を重ねた「夕鶴」の公演は、北欧の人々にも大きな感動を与えました

'95 主な出来事

11月30日	下水道高瀬1号幹線布設工
11月23日	まちづくりフォーラム
11月15日	市政・教育功勞表彰
11月2日	田舎・気功研修団56人が西安市を訪問
10月28日	畜産フェスティバル
10月10日	京葉道路船橋インターチェンジ 千葉方向入り口開通
10月10日	スポーツ健康の祭典
10月4日	スポート健康の祭典
10月1日	北総育成園の園生がオーデンセ市で公演
9月30日	福祉のまちづくり環境整備指針を策定
9月19日	救急医療シンポジウム
9月3日	船橋市地域防災無線協議会を設立
8月30日	総合防災訓練
8月20日	国連世界女性会議へ市民10人を派遣
8月17日	東葉高速鉄道レール締結式
8月5日	愛と平和の集い(戦後50周年)
8月1日	全国初の環境共生まちづくり条例を施行
7月29日	道路安全推進室を開設
7月29日	私があげる花火大会
6月16日	東葉高速鉄道レール締結式
6月16日	市民まつり、めぐり、めぐり、めぐり、めぐり
5月30日	下水道高瀬幹線管渠の建設工事の発進式
5月28日	クリーン船橋530推進員を委嘱
5月10日	震災対策救命・救急訓練
5月5日	船橋市・西安市友好学校調印
4月23日	ちびっこ防災フェア
4月14日	船橋市・西安市友好都市親善団幕大会
4月1日	千人の音楽祭
3月21日	震災対策でミニバイク隊を導入
3月13日	全国初の共同空中偵察を実施(震災対策)
2月26日	「救急医療機関ネットワーク」スタート
2月18日	視覚障害者自立生活支援事業開始
2月15日	医療センター増床工完了。426床に
1月15日	「ふなばしレンタサイクル法典」オープン
1月8日	初の女性消防団員13人を採用
1月1日	市議会議員選挙
1月1日	元日マラソン
1月1日	市立船橋高校サッカー部が第73回全国高校サッカー選手権大会で初優勝
1月1日	成人式
1月1日	震災対策推進本部設置
1月1日	船橋市・西安市友好都市親善団幕大会
1月1日	千人の音楽祭
1月1日	震災対策でミニバイク隊を導入
1月1日	全国初の共同空中偵察を実施(震災対策)
1月1日	「救急医療機関ネットワーク」スタート
1月1日	視覚障害者自立生活支援事業開始
1月1日	医療センター増床工完了。426床に
1月1日	「ふなばしレンタサイクル法典」オープン
1月1日	初の女性消防団員13人を採用
1月1日	市議会議員選挙
1月1日	元日マラソン
1月1日	市立船橋高校サッカー部が第73回全国高校サッカー選手権大会で初優勝
1月1日	成人式
1月1日	震災対策推進本部設置
1月1日	船橋市・西安市友好都市親善団幕大会
1月1日	千人の音楽祭
1月1日	震災対策でミニバイク隊を導入
1月1日	全国初の共同空中偵察を実施(震災対策)
1月1日	「救急医療機関ネットワーク」スタート
1月1日	視覚障害者自立生活支援事業開始
1月1日	医療センター増床工完了。426床に
1月1日	「ふなばしレンタサイクル法典」オープン
1月1日	初の女性消防団員13人を採用
1月1日	市議会議員選挙

新町の文化財

道祖神社 (高根道)



大銀杏と大楠に包まれた道祖神社

戦前は立場が四軒も五軒もあり、朝から晩まで馬車が往来した高根道——床屋、竹屋、籠屋、仕立屋、鍛冶屋、馬方屋など今は懐かしい店が並び職人さんがたくさんいたのに、足袋屋さんが店仕舞いし、豆腐屋さん、道具屋さんと、一軒又一軒と姿を消していった。代わってアパートやマンションが新しくでき「町」から「街」へと変わっている。馬車なんてずうっと昔の古い話になり、今では車が連らなって走る高根道——正式には「市道宮本・高根・金杉線」と呼ばれ市民の大切な生活道路である。その点は昔も今も変わらない。その路傍の小さい空地に「道祖神社」がある。が神社といえば神社、だから境内といえは境内だろうが、何んたつて狭くて小暗い木陰である。何と見事な社前の大銀杏、社裏の四本の大楠だろう。銀杏はおどなの背丈程の所で幹が分岐しそこから幾つも乳牛のおっぱいをぶら下げている。楠は楠で四本が四本とも秋空に思いっきり手足を伸ばしている。五本の巨樹が一塊り、何と云ったらいいか、とにかく天高く緑の大噴水、ジョッキの泡のように盛り上がり、まずは街なかの一異景であることは確かである。

梢ばかり見上げていた。青く澄んだ空ばかり眺めていて降りし、薄暗い小窓の内を覗くと、奥まった先に小石祠が収まっている。これが聞くところの「寛政四年」を刻む御神体だろう。四本の大楠の寄り合う根元の部分に安心しきつたように収まっている。

(文・大木 勲)

総勢2600人が参加
第28回 農水産祭



野菜の即売会は大好評。あっという間に売り切れました

新鮮な農水産物が勢ぞろいし、毎年好評の農水産祭。今年は10月28日の畜産フェスティバルと11月11・12日の本祭に分けて行われました。牛の乳しぼりや模擬せり市など楽しい催しに、たくさんの皆さんが詰めかけました。

慣れない手付きで牛の乳しぼり



今回初めて行われたタウンウォッチング

11月23日、都市デザインの今後をテーマにまちづくりフォーラムが開催されました。今回はパネルディスカッションに入る前に、船橋駅から文化ホールまでのタウンウォッチングも行われ、より具体的な討論会となりました。

船橋の都市デザインを考える
まちづくりフォーラム



活発な討論が行われたパネルディスカッション

来年10月オープンに向けて
メルヘンの丘懇話会を設置

10月25日、「メルヘンの丘運営検討懇話会委嘱状伝達式」が行われました。この懇話会は、市民の代表や有識者15人で構成されています。来年10月にオープンするアンデルセン公園のメルヘンの丘ゾーンをより魅力的にするため、様々な提言を行っていきます。



張り詰めた空気の中、白熱した対局が行われました

アマチュア棋士が熱い対局を展開
船橋市・千葉市民親善囲碁大会



全勝の方には、記念品が贈られました

11月5日、第14回船橋市・千葉市民親善囲碁大会が浜町公民館で行われました。囲碁を通じて市民交流の輪を広げようといはじめられたこの催しに、今年も両市民309人が参加。接戦の末、186勝対183勝で千葉市が勝利を収めました。これで通算成績は、船橋市の8勝6敗となりました。

市民芸術の祭典
第33回 船橋市市展



5部門587点が出品された市展。前期と後期に分けて展示されました

11月9日から23日まで市民ギャラリーで第33回船橋市市展が開催されました。日本画、洋画、彫塑、工芸、書の5部門に587点が出品。作者の情熱あふれる力作が並び、芸術の秋に彩りを添えていました。



11月19日には各賞の表彰式が行われました



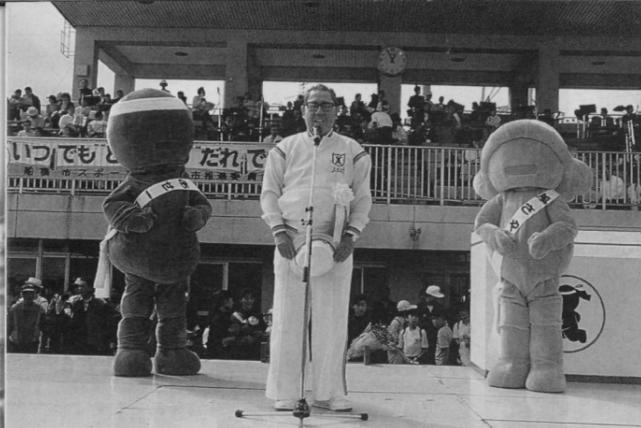
たくさんの人でにぎわったバザー

市立看護専門学校で「第2回翠看祭」が開催されました。10月27日には市内在住のシンガーソングライター伊藤薫さん作詞・作曲の校歌を発表。28日には初めて翠看祭を一般公開し、「救急法教室」や「白衣で写真撮影」など看護学校ならではの催しが行われました。

文化祭の秋
市立看護専門学校
「翠看祭」



校歌を発表する作者の伊藤薫さん



「汗一平君」と「風さやかちゃん」に囲まれて大橋和夫市長があいさつ

風さやかちゃんがデビュー
スポーツ健康の祭典

10月10日体育の日に、毎年恒例のスポーツ健康の祭典が、運動公園を中心に市内各会場で開催されました。運動公園ではファミリーゾーンやチャイルドゾーンなどが設けられ、子供からお年寄りまでだれもが楽しめるイベントがいっぱい。また、今回は「汗一平君」のガールフレンド「風さやかちゃん」も登場し、チビッコの人気を集めていました。武道センターや大穴市民プールなどでも様々なイベントが行われ、参加した皆さんは心地良い汗を流していました。

このほか、三田・習志野をはじめ、二和・三咲、本中山でも地区祭が開催されました。



秋晴れのもと、さわやかな汗を流しました



み・た・なら地区祭のペタンクコーナー

Welcome to Funabashi
ハイワード姉妹都市委員会
歓迎レセプション



▲姉妹都市委員の皆さんを囲んで記念撮影

来年で姉妹都市締結10周年を迎えるハイワード市。10月23日、レイ鶴本船橋・ハイワード姉妹都市委員会創設委員長らを囲んで、歓迎レセプションが開かれました。会場では記念品が贈られたり、琴やフルートが演奏されたりと、終始和やかな雰囲気にも包まれていました。



フルートの素敵な演奏が、レセプションに彩りを添えていました

変わりゆく船橋の「今」をスケッチ
ふなばし百景展

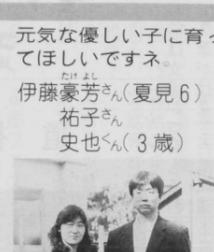


日本画、洋画、イラストレーションなど様々なジャンルの専門家による原画が展示されました

10月24日から29日まで、市民ギャラリーで「ふなばし百景展」が開催されました。これは広報ふなばしに連載され、好評だった「ふなばし百景」の原画100点を展示したものです。船橋にゆかりの深い芸術家47人の手で描かれた原画は、移り変わる市街地の様子や歴史を物語る寺社など、様々なまちの風景が情感豊かに描かれています。来場した皆さんは、ふだん見慣れた風景の新たな一面を発見しているようでした。



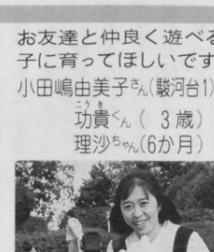
元気に育ってくればいいですね。
渡部育子さん(行田2)
円香ちゃん(11か月)



元気で明るい子に育ってほしいですね。
西片幸司さん(習志野1)
莉穂ちゃん(2歳)



お友達と仲良く遊べる子に育ってほしいです。
小田嶋由美子さん(駿河台1)
功貴くん(3歳)
理沙ちゃん(6か月)



世の中を明るくするようになりたいですね。
朝田ひとみさん(三咲2)
晃世くん(3歳)
実希子ちゃん(1歳)



世の中を明るくするようになりたいですね。
朝田ひとみさん(三咲2)
晃世くん(3歳)
実希子ちゃん(1歳)

市民ひとことインタビュー
お子さんにひと言

町会・自治会

16町会1300人が参加 豊富地区体育レク祭開催



町会対抗で行われたムカデ競走

10月15日、豊富中学校で「第22回豊富地区体育レクリエーション大会」が開催されました。豊富地区の16町会、1300人が参加して行われたこの大会は、封切り競走やアベック二人三脚など、子供からお年寄りまで楽しめる種目がいっぱい。秋晴れの空の下、参加した皆さんは、さわやかな汗を流していました。大会の結果は、優勝・神保町会、準優勝・豊明台自治会、第3位・金堀町会でした。

東松が丘町会30周年記念祝賀会



記念の30年史も発刊されました

昭和41年に発足した東松が丘町会が30周年を迎え、11月19日に記念祝賀会が開催されました。会場では、町会の開拓者にこの地で生まれた二世、三世が加わり、思い出話を花を咲かせていました。

町会発足30周年 坪井町東松が丘町会

郷土芸能

市の指定文化財 大宮神社の神楽



幻想的な神楽の舞い

10月23日、飯山満町の大宮神社で市の指定文化財の神楽が行われました。神楽は古くから行われている郷土芸能の一つで、無病息災や五穀豊穡を祈って舞われています。



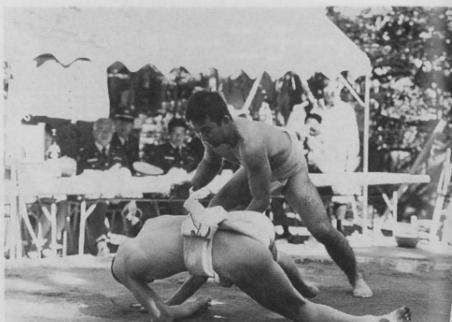
たくさんのお店がおりを盛り上げました

船橋大神宮で 神楽と相撲



こども相撲個人戦の決勝は、大人も勝負の一番

10月20日、船橋大神宮で例祭が行われ、神楽の舞いと、けんか相撲が披露されました。この相撲は、江戸時代に船橋を訪れた徳川家康をもてなすために、子供たちを集めて相撲をとらせたのが始まりです。22日には、市内の小学生約280人が集まって、こども相撲大会も開催。28人の女子も参加しました。



白熱した取り組みが行われたけんか相撲



大神宮の神楽は市指定文化財になっています



子供たちにふるさとの味を教えてあげたいですね

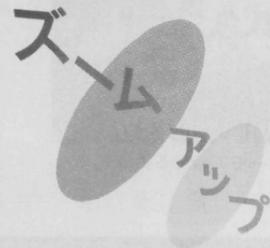
昭和62年に実施された「第2回少年の船」に隊長として参加し、子供たちと上海までの船旅をとおして、共に体験し、学んだことが、今でも相談員活動の支えになっているという。「帰国して、いよいよお別れとなったときは、相談員も子供たちも思わず泣き出しました。仕事と相談員活動の両立は大変ですが、あの感動を味わうとやめられなくなりそうです」

「子供たちとふれあいながら、共に泣いたり、笑ったりしてきたことがとても印象に残っています」と目を細める大竹さんは、昭和57年に船橋市の青少年相談員となり、平成5年から会長を務めている。青少年相談員は、各町会・自治会長の推薦を受けて、千葉県知事と市長から委嘱された青少年健全育成のためのボランティア。市や町会・自治会などが主催、あるいは自ら主催しての各種スポーツ・レクリエーション大会、キャンプなど様々なイベントを企画・運営し、また青少年の良き相談相手となる。船橋市では、昭和38年にこの制度が始まり、現在では277人の相談員が盛んに活動している。大竹さんは15年ほど前に船橋に転入。周もなく、地域の子供会のソフトボールチームを指導することになった。それが縁で相談員となり、今年で13年目を迎えた。「子供たちを指導するつもりが、結構教えられることが多いんですよ」

「相談員の任期は3年。定年は45歳。3年ごとに新しい仲間が入ってきます。私たちが得た知識を伝え、若い指導者を育てることも大切な仕事なんです」最近では、行事運営に子供を参加させたり、中学生対象の事業を開催するなど、シニア・リーダーの育成にも力を入れている。



北海道・津別町との青少年交流事業に参加して



大竹幸明さん(松が丘5) 「子供から教えられる」 ことの方が多いですね

船橋市青少年相談員
連絡協議会会長



海老川ジョギングロードを清掃する参加者の皆さん



各小学校を地区会場に、清掃活動が行われました



展示された作品はどれも作者の個性が光っていました

様々なジャンルの芸術愛好家が集まって、市民ギャラリーを拠点に活動している「美術集団スクエアNEW」の作品展が、10月11日から18日まで、市民ギャラリーで行われました。絵画・書・写真・彫塑・工芸・華道と、分野を超えた作品が展示されたこの展覧会。素晴らしい作品を見ようと、大勢の皆さんが訪れました。



今でも所々で祀っているお大師様の小祠(印内・八坂神社境内)

「これは、これを見てお大師様に違ひねえ。ご伝授のお灸で病氣の人を助けて上げるでしょう」と吹きながら、杖の跡に向って合掌をしました。このお大師様のお灸は、体のある二ヶ所の灸つぼを探して焼きました。特に女性の病に効能がありました。そしてこれが評判になり、ずいっと大勢の人達が訪れたということです。

様々な分野の作品115点を展示 第3回スクエアNEW展

市民総ぐるみで 船橋をきれいにする日

38の市民団体が構成される「クリーン船橋市民会議」(清水光明議長)は、市内の生活環境美化運動を進めています。その一つとして毎年行われている「船橋をきれいにする日」が15回目を迎え、11月19日に市内全域で約6万5000人が参加して実施されました。中央会場となった天沼弁天池公園では、56団体約1000人が参加してセレモニーが行われ、海老川の八栄橋までの道路沿いや公園などを清掃しました。



ウエストモールの特設ステージではお囃子やオカリナなどの演奏が披露されました



切り絵や版画なども展示されました

街まちかど角 ホットニュース

皆さんからの情報
お待ちしております。

◎広報課 ☎36-2015

地域に根ざした文化活動を支援 第1回ららぽーと文化祭

10月14日から11月5日まで、ららぽーと文化祭が行われました。市内の公民館などで活動しているサークルに、発表の場を提供しようというこの催しに、59団体が参加。11月3日には、お囃子も行われ、何とも言えないその音色にたくさんの方が聞き入っていました。

ふなばしの民話

お大師様直伝のお灸

文・村上昭三

坊さんはお婆に向い、「今晩は大層お世話になった。お礼によく効くお灸を教えるによって、これの人々を救うがよい」と言いながら、お灸の「つぼ」を直々に伝授しました。そしてその晩、皆は寝床につきました。翌朝、お婆は、お坊さんを起さそうと思ひ、休んでいる部屋の外から声をかけました。「お灸を掛けて見ました。布団は昨夜の敷」



少しハイネックになった白いニットのセーターに、黒いスパッツとミニスカート。肩からマフラーが付いたベージュのニットのストールを掛けて登壇した松本さん。セーターの胸元には白い花のコーサージュがポイントになっています。「このコーサージュ、本当はバレッタなんです。服に何かワンポイント付けるのが好きで、かわいいうち物を見るとつい買ってしまつてしまいます。アウセサリーは、イヤリングやネックレス、ブローチなどを、服に合わせて選び、アクセントにしています。」

買い物は、ららぽーとや船橋駅周辺が多いとか。「洋服を買うときは、かわいいもので色の合わせやすい服を選びます。好きな色というより、色で遊ぶのが好きです。」

着物も好きで、お正月や市民まつり、花火大会などには、必ず晴れ着や浴衣を着るそうです。船橋の海で育ったという松本さん。夏は海水浴やテニス、冬にはスキーと活動的。「次はジェットスキーにもトライしてみたいですね」今は充電器中。資格を取って、新しいものにチャレンジしたいと期待に胸を膨らませていました。



まい・ふあっしょん

色で遊ぶのが好きですね

松本 秀子さん (目の出)



一緒に楽しく踊りましょう



幅広い年代の方が楽しんでいます

青年社交ダンス同好会

- ①昭和52年10月
- ②西部公民館
- ③毎週木曜日(夜)
- ④12人
- ⑤楽しく踊る
- ⑥定例会、ナイトフェスティバル(年1回)、ダンスパーティー(7・12月)、初級者への講習会
- ⑦神田静夫 ☎31-1922



レッスンはそれぞれのレベルに合わせて行います



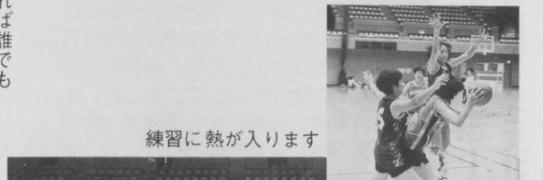
少し練習すれば誰でも吹けるようになります

ハーモニー(子供リコーダー)



私たちと一緒に演奏してみませんか

- ①発足年月日
- ②活動場所
- ③活動日
- ④会員数
- ⑤モットー
- ⑥主な活動内容
- ⑦連絡先(代表者)



練習に熱が入ります



10月には社会体育優良団体として文部大臣表彰を受けました

- ①昭和57年4月
- ②運動公園体育館
- ③毎週水・金曜日(午前)
- ④45人
- ⑤バスケット普及・振興
- ⑥定例会、家庭婦人大会(年3回)、市民大会(近隣市へも参加)、親子でバスケット、バーベキュー、お花見
- ⑦岡田昭子 ☎22-7020



チームプレーが大切です

- ①平成5年1月
- ②新高根公民館
- ③毎週金曜日(5~6時)
- ④10人(小学2年以上)
- ⑤リコーダーに親しむ
- ⑥定例会、クリスマス会、ふれあいまつり(公民館文化祭)
- ⑦久田伸子 ☎65-7473



先生のユーモアのある指導も評判



「最近若い女性のお客さんも増えています」と永木さん



自慢の流れ風呂

お店

老若男女のコミュニケーションの場
浜町浴場
浜町1-31-21
☎0474(31)5817

また船橋ヘルスセンターがあった昭和34年、丸いドーム型屋根の浜町浴場は産声をあげました。昭和40年に後を継いだ二代目ご主人永木輝忠さんは、もともとは白バイに乗る警察官だったそうです。

自慢のお風呂は、滝のある流れ風呂と露天風呂。昭和62年に建て替えた時、ほかにはないものと思って造りました。流れ風呂の滝はうたせ湯として利用する方が多いです。また露天風呂は、身近で温泉気分を味わってみたいと思つて作りしました。真冬や雨の日でも入っている方もいるんですよ」と永木さん。熱い、ぬるいとお客さんによって個人差があるので、温度設定に苦労するそうです。第一・三・五曜日の朝八時から、朝湯もやっています。

「入り口の段差をなくしたり、浴槽に手すりをつけたりと設備を充実させて、体に障害を持つ方やお年寄りの方でも、付き添いさえあれば入浴してもらえると、福祉風呂」を是非やってみてほしいです」と語るご主人。気持ちよく入ってもらうために、掃除には特に気を配るそうです。これからの季節、大きな浴槽でのんびりと、体のしんまで温まりに行ってみてはいかがでしょうか。

あい・らぶ・ふなばし



民謡の歌詞は心に深く染み通ります

浅井オクサーナさん (高根台)

「民謡の歌詞は、心に深く染み通りますね」中学生のころは、女優にあこがれていたとか。その後、商業大学の商品科を専攻しました。友達には経済学者が多いそうです。

「日本語にさらに磨きをかけて、チャンスがあれば、またビジネスの第一線でバリバリ仕事をしたいですね」。花、特にバラが大好きというオクサーナさん。大きな瞳を輝かせてきれいな日本語で話してくれました。

あとながき



来年2月には勤労市民センターで初公演を行います

おわび

Photo ふなばし Vol.69 サークル通信に掲載した「EDC」(イングリッシュ・ドラマ・サークル)の連絡先に誤りがありました。ここに、おわびして訂正いたします。

代表者 石川秀峰さん

(正) 25-2080
(誤) 45-2080

快晴の空の下、市立船橋高校が、3年連続9回目の全国高校サッカー選手権大会の出場を決めました。今年1月に行われた選手権大会の覇者・市船の相手は、夏のインターハイチャンピオン市立習志野。今年の高校サッカーを代表する両校の激突は、接戦が予想されました。

我々もカメラのフラインダー越しに市船イレブンを応援していました。試合は予想どおりの大接戦。市船が勝ち越したから、タイムアップはまだかまだかと審判ばかり見ている。試合終了後、控室の前には昨年度の卒業生が祝福に訪れていました。Jリーグや大学サッカーで活躍中の選手などを見ると、全国大会初制覇の感動が胸をよぎります。今回も国立競技場で市船の雄姿をカメラに収めたいと思います。(尚)



近所のチビッコたちも僕をかわいがってくれます

僕は、イングリッシュセッターと言って、イギリス出身の立派な猟犬なんだ。目のまわりが黒いのがトレードマークさ。平成4年6月24日生まれで、人間で言えば、27.8歳くらいかな。ご主人に可愛がってもらって、9か月になります。好きな食べ物は、チキンの頭をポイルしたもの。たまにラーメンも食べるんだ。毎日朝晩の散歩は欠かせません。特に朝は、海老川橋を渡ってららぽーとの方まで足をのびします。僕の苦手なものわかる？暑さとシャンプー。ホース見るのもいやなくらいなんだ。ところで、いよいよ狩猟のシーズン突入。ご主人と猟に行くのがとても楽しみなんだ。チーターも顔負けの俊足を披露して、がんばらなくっちゃね。

なまえ ラーク (イングリッシュセッター)
オーナー 滝口正幸さん (本町)

全国大会2連覇に向けて 市船サッカー部 県大会で優勝



準決勝の対法谷幕張戦。終始ボールを支配し2対0で快勝



「全国大会2連覇に向けて全力を尽くします」と市船イレブン



全国大会出場を決め喜ぶ市船応援団



決勝の対市立習志野戦。前半21分、城定選手が冷静にPKを決め先制

スポーツで健康ふなばし
こんにちは…



11月5日に千葉県高校駅伝大会が行われました。市船陸上部女子は前評判通りの強さで優勝。男子もアンカーなどの活躍で見事1位でゴールし、12月24日の全国大会に2年連続6回目のアベック出場を果たしました。
また19日、市原臨海競技場で行われた全国高校サッカー千葉県大会決勝でも、市船サッカー部が、インターハイ優勝の市立習志野高校を2対1で破り、見事9回目の全国大会出場を決めました。大会2連覇に向けての初戦は、1月2日に益田高校（島根県）と戦います。市立船橋高校の活躍に、市民の皆さんの熱い声援をお願いします。



7年連続全国大会出場に思わず笑みがこぼれます



ゴール後アンカーを胸上げる市船のメンバー



圧倒的強さで女子の部を制しました

師走の都大路へ 2年連続男女アベック出場!!



最後まで激しいデッドヒートが繰り広げられました